

ラ・ラ・ランド

La La Land

観賞日 2020・2・10

【概要】

制作 2016年 米
脚本 デミアン・チャゼル
監督 デミアン・チャゼル
音楽 ジャスティン・ハーウィッツ
撮影 リヌス・サンドグレン
出演 ライアン・ゴズリング (セバスチャン・ワイルダー:セブ)
エマ・ストーン (ミア・ドーラン)

上映時間 128分



【あらすじ】

ハリウッド女優を夢見るミアはカフェでアルバイトをしながらオーディションを受けている。ジャズ演奏ができるレストランを持つことが夢であるセブは雇われてピアノを弾いているが店をくびになる。パーティで知り合った二人はミアの勤めるカフェで再会。互いの夢を語りながら魅かれあっていく。その後も、デートを重ねるミアとセブ。昔の音楽仲間キースと出会ったセブはキースのバンドに入ることを決意する。目指す音楽は違っていたが生活していくうえでの苦渋の選択で、やがて人気者になっていく。ツアーで多忙なセブと未だ売れないミア。やがて二人の間に隙間風が。夢破れて故郷に帰るミア。ある日、セブの許にミア宛の映画のオーディション話が舞い込む。自信を失っていたミアは断るがセブはオーディションを受けるよう説得し、ミアは見事に大役を得る。

それから5年、大女優への道を進むミアはある晩、渋滞に巻き込まれ夫と食事をするため店に入る。そこはセブの経営する店であった。久しぶりにミアを見たセブが演奏したのはかつてミアがリクエストしたあの曲であった。

若い才能が爆発、ミュージカルの復権を高らかに謳いあげた2016年最大の話作。

【解説】

●監督デミアン・チャゼル

- ・1985年生れ。監督2作目の「セッション」(2014年)がアカデミー作品賞にノミネートされる。
- ・3作目の本作でアカデミー賞監督賞受賞

●受賞

2017年アカデミー賞

ノミネート13部門

受賞6部門(監督賞・主演女優賞・撮影賞・美術賞・作曲賞・歌曲賞)

■見どころ

●オープニング

実際に高速道路を借り切って撮影。

●切ないラストシーン(セブのピアノ演奏から始まるラスト10分)

夢、成功、自己犠牲、人生の岐路、後悔

幸せなのは誰?(ミア、セブ、二人とも)

未練があるのは?

